

仕様書

イノベーション推進部

1. 件名

「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」新エネ・中小スタートアップ支援制度の公募対象となる再生可能エネルギー等の研究開発動向に関する調査

2. 目的

本業務は、NEDO が、2007 年度から実施している「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（以下、新エネシーズ発掘事業とする）」において、公募対象となっている各技術分野（調査項目①、②参照）について、国内外における研究開発動向を俯瞰的に把握する目的で実施する。

新エネシーズ発掘事業では、効果的な事業となるよう、随時、事業制度の改正を実施しており、更なる事業化率の向上を図るためには、技術開発から実用化までの支援策の一層の充実化が必要となっている。

そのために、本業務では、国内および海外の現状、動向も踏まえ業界を俯瞰した分析を施し、技術開発や実証の方向性をより明確化させると共に、将来社会実装した時にどの程度の効果やインパクトがあるのかを予測する。

3. 業務内容

本調査では、新エネシーズ発掘事業に関連する企業を対象としたアンケートなど、以下の調査項目①～②を実施する。

【調査項目①】 再エネ等関連中小・ベンチャー企業の国内外研究開発動向調査

再エネ等関連 6 分野（太陽光分野、風力分野、燃料電池分野、蓄電池分野、系統分野、再エネ熱分野（除く、地熱分野））について、国内および海外の現状、動向について論文・報告書等文献にて調査し、分析する。

具体的には、国内外の再エネ政策における中小・ベンチャー企業の位置づけや、その研究開発成果及び社会実装成果を分析し、今後の新エネシーズ発掘事業において取り組むべき課題を絞り込む。

【調査項目②】 再エネ業界俯瞰図

再エネ等関連 6 分野（太陽光分野、風力分野、燃料電池分野、蓄電池分野、系統分野、再エネ熱分野（除く、地熱分野））の業界俯瞰図を作成する。太陽光、風力、蓄電池、系統分野は現状の分析と俯瞰図。再エネ熱分野は、サブ分野を設定し、代表的なサブ分野について現状分析と俯瞰図の作成を行う。

俯瞰図の作成にあたっては、下記の視点で分析を行う。

- ・どの技術領域について大企業が担い、どの領域について中小・ベンチャー企業が補完すべきなのか、また大学などの学術研究の領域の視点を盛り込む。
 - ・(1) エネルギー政策・課題上、中小・ベンチャー企業が得意とする領域、(2) 事業規模が小さい等の理由で大企業が進出しづらい領域、(3) ナショナルプロジェクトを補完し、支える技術領域、はそれぞれ何かを整理する。
- 具体的には、机上調査を行った上で、以下の調査を実施し、分析を行う。
- ・各分野における代表的な大企業、団体等を洗い出し、アンケート・ヒアリングを実施する。ヒアリングは各分野あたり5～10者程度を行う。
 - ・中小・ベンチャー企業が保有する再エネ関連技術の本格的普及にあたっては投融資の観点も欠かせないため、再エネ関連の投融資に積極的な銀行やVCを中心に5～10者程度、アンケートまたはヒアリングを実施する。
 - ・また、情報を補完するために当該分野について深い知見を持つ専門家(学識経験者、各種研究所、専門シンクタンク等)にも必要に応じてヒアリングを行う。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2022年12月20日まで

5. 予算額

20百万円以内

6. 報告書

第1回中間報告書提出期限：2022年6月28日

第2回中間報告書提出期限：2022年10月28日

最終報告書提出期限：2022年12月20日

調査終了後には成果報告書の電子ファイル(PDFファイル形式)をNEDOプロジェクトマネジメントシステムにより提出する。

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上